

■福島市農業委員 推薦・応募状況

○令和8年3月9日締切日現在

推薦・応募数 27 名 (うち認定農業者数および認定農業者に準ずる者 13 名)

【目次】

○個人推薦	P.2
○団体推薦	P.3～6
○応募	P.7

※推薦・応募状況の掲載内容は、推薦書及び応募用紙に記載された内容のとおりとしています。

■福島市農業委員 推薦・応募状況(個人推薦)

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)										推薦者(推薦した者)					農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無											
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況			氏名	年齢	性別	職業		推薦の理由										
					年月日	内容			田	畑	所有地						借地	①経営形態	②耕作面積	③従事年数	④受託作業	農業経営・栽培技術における評価 (推薦を受ける者が農家でない場合は、農業情勢や本市農業の現状についての理解)	推薦を受ける者が、農業委員としてどのような活動が期待できるか				
1	なかむら けんいち 中村 謙一	71	男	農業	H10 H28～ H28.4～ R4.4～ R6.4～	営農開始 専業農家 富塚町内会副会職 北地区福島市交通安全協会理事 福島県農業会議理事	有	非該当	①経営形態	専業	須藤 満	56	男	会社役員	直売所やスーパーへ、野菜全般商品に対し、品質と市内ではあまり見ない差別化した商品の作付けなど行い、消費者のニーズや減薬・減化学肥料など考え日々栽培技術や近年の温暖化などに日々研鑽している。	国は食料安全保障の強化を軸として「食料・農業・農村基本法」の見直しが行われ、また今年から5年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置づけられたことや地域計画のブラッシュアップなどの中で、将来を見据えた持続可能で儲かる産業、食料自給率アップする取組など今取り組まなければならない課題が山積しています。生産者に寄り添い多くの課題に取組み、一步一步確実に多くのことに関係者と共にチャレンジし進めて行く、行って頂けると期待する。											
									②耕作面積	田							-	a	畑	17	a	所有地	17	a	借地	-	a
									③従事年数	27							年	④受託作業	-	a	小池 秋夫	77	男	農業			
									⑤主な生産品目	野菜全般							黒羽 唯之	44	男	農業							
2	よした ひさかつ 吉田 久勝	61	男	農業	S58.3 S59.7 S60.1 H9.8 H21.3 H30.4 H30.5	福島県立保原高等学校卒業 陸上自衛隊入隊 第44普通科連隊(福島市) 防衛庁自衛隊福島地方連絡部 福島駐屯地広報室 定年退官 農業	無	非該当	①経営形態	専業	早川 和裕	65	男	農業	現在、吉田久勝氏は施設園芸(キュウリ)を中心とし雇用を受け入れながら野菜全般を生産する複合経営を行っている。	自らが農業者であるため、地域農業のための活動が期待できる。											
									②耕作面積	田							-	a	畑	40	a	所有地	-	a	借地	20	a
									③従事年数	7							年	④受託作業	-	a	梅宮 照彦	67	男	農業			
									⑤主な生産品目	キュウリ							持地 勝雄	85	男	農業							
3	たまね よしみつ 玉根 吉光	75	男	農業	H25～30 H25～ R元～ R2～	桜本中部町内会長 吾妻地区自治振委員 水保地区 遊休農地委員 桜本中・西部 環境保全会会長	有	該当	①経営形態	専業	佐藤 富英	89	男	農業	水稲主力の経営者で、効率の良い機械の導入を図り、地域のために経営面積を年々増やしている。モモ、ナシなどの果樹についても長年経営し、JAが主催する指導会の水保地区園場として協力するなど地域の栽培技術向上に貢献している。	現在40代～50代の青年の方々の農業への関心が、少しでも高められるように、補助金等の説明しながら、委員として活動を行う。											
									②耕作面積	田							850	a	畑	50	a	所有地	220	a	借地	680	a
									③従事年数	40							年	④受託作業	330	a	梅津 紘一	86	男	農業			
									⑤主な生産品目	米、モモ、ナシ							二階堂 典男	75	男	農業							

■福島市農業委員 推薦・応募状況(団体推薦)

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)						農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無	
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業経営の状況	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格	設立目的	推薦の理由			
					年月日	内容	農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴						認定農業者状況	農業経営における評価(推薦を受ける者が農家でない場合は、農業情勢や本市農業の現状についての理解)		推薦を受ける者が、農業委員としてどのような活動が期待できるか
1	やまぎし ゆみこ 山岸 由美子	62	女	農業	R4.3~ R7.3~ R5.7~ R7.4~	JAふくしま未来女性部清水支部支部長 JAふくしま未来女性部福島区域副部長 福島市農業委員 清水小学区青少年健全育成推進会事務局	有	非該当	①経営形態 兼業 ②耕作面積 田 145 a 畑 - a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 40 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 梨、リンゴ	ふくしま未来農業協同組合 清水地区農振会 清水地区農振協議会長 白坂 正春	200	清水地区居住の農家	組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため。	推薦をする山岸由美子氏は、家業が果樹農家であるため農業情勢や農業技術について十分に理解しております。	推薦する山岸由美子氏は、女性農業者であるため女性ならではの視点を生かした意見発信や協調的な取り組みにより、福島市の農業振興に期待できます。また、近年求められている女性の農業参加の推進においても、意欲的であり多様な立場の声を行政や地域に届ける役割を担うことが期待できます。	無
2	こせき けいこ 古関 恵子	75	女	農業		女性防火クラブ会長10年 JA女性部副部長 蔬菜部副支部長 蔬菜	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 620 a 畑 20 a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 50 年 ④受託作業 100 a ⑤主な生産品目 米、きゅうり	飯野町農振会 会長 須田 正一	484	飯野地区居住の農家	農業振興と後継者の育成等	農業委員として、また認定農業者会長として活躍しており、農業情勢や福島市の担い手不足、後継者対策などの農業問題も理解しており、活躍が期待できる。	地域の農業、農地利用の調整、農地内の問題解決や地域の農業振興など、知識と技術を提供し地域農業の活性化に大いに期待できる。	無
3	あそ つねひこ 阿曾 恒彦	63	男	会社員 (花火師) 兼農業	S56~ H7.4 R5.4~ H26.4 H27.4~ R3.4.1~R4.3.31 R7.4.1~R8.3.31	兼業農家として農業に従事 消防団入団 第42分団分団長 猟友会福島支部入会 大久保鳥獣対策組合を設立し代表に就く 大久保あおぞら農振会会長 大久保あおぞら農振会会長	無	非該当	①経営形態 兼業 ②耕作面積 田 20 a 畑 5 a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 45 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米、野菜等	飯野町農振会 会長 須田 正一	484	飯野地区居住の農家	農業振興と後継者の育成等	国の交付金事業における多面的機能支払及び中山間地等直接支払制度の組織活動において役員を務められ、農地の機能保全活動に大きな役割を果たしている。特に鳥獣被害対策組合の会長として被害防止に大久保地区全体に20に及ぶわなの管理の責任者として、務められている。又、活動を通して仲間作りにも尽力していただいている。	震災以降、狩猟免許を取得し、鳥獣被害対策の組織の代表として、国の交付金事業の役員としても、今後とも農地の保全管理にそして、地域の農業の担い手として、福島市の農業の振興に大いに貢献が期待できる	無
4	こんの たくや 今野 拓也	40	男	農業	H28 R3.11~R5.3 R4.1~	農業経営開始以降専業農家 福島市農業賞(令和3年度農業奨励賞 受賞) 福島市スマート農業検討委員会 委員 福島市・川俣町農業士会(青年農業士)	無	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 60 a 所有地 40 a 借地 20 a ③従事年数 10 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 トマト、パプリカ	吉井田地区農振協議会 会長 油井 健治	186	吉井田地区居住の農業者	組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため。	推薦する今野氏はトマト、パプリカ等の施設栽培を中心に農業経営を行っています。いち早くスマート農業に取り組み、作業の効率化・省力化に取り組んでいます。また、福島市スマート農業検討委員会委員(令和3年~令和4年)として活動していました。福島県環境負荷低減事業活動実施計画によるみどり認定を福島県第1号で認定され、環境にやさしい農業への取り組みについての理解はふかしく、他の模範となります。令和3年度には福島市農業賞を受賞し、地区の地域協議会積極的に参加しており、若手農業者として認知されています。	スマート農業への取り組みやみどり認定1号でもあり、その見地を本市農業に強い影響を与えることに期待したい。また、今後の地域計画の進め方に担い手として期待したい。	無
5	わたなべ まさよし 渡邊 正芳	71	男	農業	S48~ R2.7~現在 H20~	専業農家として従事 福島市農業委員 民生児童委員	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 30 a 畑 170 a 所有地 200 a 借地 - a ③従事年数 50 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 桃、りんご、ぶどう	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店 農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合飯坂支店管内正組合員	組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため。	推薦する渡邊正芳氏は、本地域の農業者からの人望も厚く、農業者からの相談や農業施設の改善に関する意見を傾注し、農業委員として適正な判断のもと、業務遂行にあたられております。今後、農地利用最適化推進の方針や改善にも一役を担っていただけたらと思います。	推薦する渡邊正芳氏は、JAの専門部会役員及び旧飯坂南支店農振協議会会長、その他各組織の会長並びに委員長を歴任され、地域や農業組織事業にも大変力を注いでいただいております。また現在も農業委員としてご活躍いただいていることから、これまでの経験と実績を活かし、農地利用の最適化のための活動が大いに期待されます。	無
6	かんの ひでお 菅野 秀夫	68	男	農業	H30.3 R4.2~ R2.7~R5.7 R5.7~現在	全農福島県本部を定年退職 湯野地区川東農振会・湯野地区農振協議会長 福島市農地利用最適化推進委員 福島市農業委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 162 a 所有地 120 a 借地 42 a ③従事年数 48 年 ④受託作業 果樹関係 10 a ⑤主な生産品目 桃、りんご、茗荷谷	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店 農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合飯坂支店管内正組合員	組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため。	推薦する菅野秀夫氏は、平成30年に全農福島県本部を退職後、専業農家となりましたが、退職前から就農しており、兼業農家としての期間も長く実績があります。勤務先であった全農福島の立場での経験からも、栽培技術や農業経営を学んできており、知識も豊富な人材であります。	推薦する菅野秀夫氏は現在、福島市農業委員として活動し、職務遂行にあたられております。引き続き農業委員として、これまでの経験と実績を活かし、今までの以上の活躍が期待されると思慮致します。	無

■福島市農業委員 推薦・応募状況(団体推薦)

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無			
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格		設立目的	推薦の理由	
					年月日	内容	有									推薦を受ける者が、農業委員としてのどのような活動が期待できるか	
7	ひしめま すみえ 菱沼 寿美恵	49	女	農業	H20～ R2～	実家の農業に就農、以降専業農家として従事 平成31年度JAふくしま未来女性部フレッシュユミズ 部会湯野支部会長 福島市農業委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 276 a 畑 276 a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 18 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 桃、りんご	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店 農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店管内 正組員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組合 事業の円滑なる推進 を図るため。	推薦する菱沼寿美恵氏は、湯野地区 の中でも比較的規模が大きい農業経営 を営んでおり、義父母・配偶者とも に就農しており、栽培技術において も日々指導を仰ぎながら農作業を 行っております。 農業経営、栽培技術習得において、 大変良い環境であると思います。	推薦する菱沼寿美恵氏は、就農期間 はまだ浅いものの、農業経営において は最適な環境でありますので、農業委員 として地域の貢献は大いに期待出来 ると思慮致します。 人柄も良く、社会的な人物でありま すので、農家の方々も相談し易い人材 であると思います。	無	
8	かんの よしはる 菅野 善晴	69	男	農業	S58～ H15.4～H19.3 H25.4～H29.3 H31.4～R5.3 R1.8 R4.6～現在	農業開始 東湯野小PTA会長 東湯野体育協会副会長 消防団第27分団長・防犯協会副会長 JAふくしま未来退職 JAふくしま未来監事	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 26 a 畑 98 a 所有地 124 a 借地 - a ③従事年数 39 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 桃、林檎、米	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店 農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店管内 正組員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組合 事業の円滑なる推進 を図るため。	推薦する菅野善晴氏は、地元JAの監 事として尽力されている兼業農家であ りますが、父からの経営移譲を機に農 業経営40年ほどの実績があります。 勤務先であったJAでの経験からも、 栽培技術や農業経営を学んできてお り、両方面からの知識も豊富な人材で あると思います。	推薦する菅野善晴氏は、現在農業委員 として職務の遂行にあたられておりま す。 任期満了となりますが、再任してい ただければ、次期についてもこれまでの 実践経験を活かし、業務継続の観点 から、これまで以上の業務遂行が期待 されると思慮いたします。	無	
9	あべ えいいち 阿部 栄一	73	男	農業	S51 H18～ H29～ 現在	宇都宮大学農学部卒業 同年就農 以降専業農家 笹木野原畑地かんがい組合書記 野田果樹共同防除組合長(2期) 笹木野原町内会総務(3期目)	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 110 a 所有地 110 a 借地 - a ③従事年数 51 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 梨	野田地区活性化委員会 委員長 丹治 正廣	43	総代の代表 農振会長 専門部会の代 表 等	地区組合運営の活性 化について、意見集約 をはかり、組合運営に 反映させるとともに、 事業推進の基盤組織 として協同活動を強化 し、組合の民主的かつ 健全な発展を推進す ること。	推薦する阿部栄一氏は、昭和51年就 農後一貫して梨栽培に取り組み、生産 の安定や品質の向上そして技術の研 さんを重ねてきた。 共同防除組合の重要性を認識し研修 や講習を充実し、レベルの向上に努め てきた。 また自然災害に備えるため、笹木野 原畑地かんがい組合の役員として、水 を確保し安定供給を図るなど、農業の 現状理解は十分にある。	推薦する阿部栄一氏は、令和5年か ら後継者とともに梨作りの規模を拡大 し新たな展開を図っている。それは、 農家の高齢化と後継者不足のために ふえてきた放任園地や耕作放棄地の 解消のための光となる。 新規就農者への具体的なアドバイス も期待できる。	無	
10	のざき としゆき 野崎 俊幸	69	男	農業	H27～ H28～29	農業経営開始 以降専業農家 余目地区(さすの目農振会長) 農業委員2期	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 30 a 畑 60 a 所有地 100 a 借地 - a ③従事年数 11 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 水稻・りんご・ ぶどう・すもも	余目農振会連絡協議会 会長 佐藤 健彦	150	余目地区居住 の農業者	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組合 事業の円滑なる推進 を図るため。	主に・ブドウ・りんご、・水稻などを栽 培する専業農家で、特にブドウ(シャイ ンマスカット)栽培技術は優れています。 地域の後継者などにも技術指導をし ています。	農業委員を2期経験していることか ら、地域と行政のパイプ役として習得 した知識と経験を今後も地域農業の 発展を目指し、より一層の活躍を期待 します。	無	
11	なみおか ますみ 浪岡 真澄	63	男	農業	H7～ H26～ R元～ R元～	就農 佐原地区等地域資源保全協議会庶務 佐原区副区長 佐原室石集落協定代表	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 650 a 畑 20 a 所有地 - a 借地 650 a ③従事年数 30 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 水稻	佐原地区農業振興会 会長 佐藤 友克	150	佐原区居住の 農業者	地区内の農業の持続 的・健全な発展	推薦をする浪岡真澄氏は、佐原地区 内の作付されていなかった田を借り入 れ水稻の栽培を始めるなど、耕作放棄 の未然防止や遊休農地の活用などに 努めている。	推薦をする浪岡氏は、地域内の各種 団体の役員をされており、農業委員と しても活動のまとめ役として十分に発 揮できる。	無	
12	あんざい あさみち 安齋 昭通	66	男	農業	H3～ H11.10.1～現在	農業経営開始以降専業農家 福島市消防団	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 144 a 畑 - a 所有地 144 a 借地 - a ③従事年数 34 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米、鶏卵	JAふくしま未来 松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正 組員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組合 事業の円滑なる推進 を図るため。	推奨する安齋昭通氏は認定農業者で JA直売所会館松川支部副部長である ため農業情勢には福島市に限らず日 本の現状についても十分理解してい る。	推奨する安齋昭通氏は認定農業者で あり地域における、遊休農地、効率的 利用、耕作放棄の発生防止、及び解消 が期待できる。	無	

■福島市農業委員 推薦・応募状況(団体推薦)

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無			
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業経営の状況	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格	設立目的	推薦の理由				
					年月日	内容	農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴						認定農業者状況		農業経営における評価 (推薦を受ける者が農家でない場合は、農業情勢や本市農業の現状についての理解)	推薦を受ける者が、農業委員としてどのような活動が期待できるか	
13	おがた たらあき 尾形 寅昭	71	男	農業	H12～ H24.11.16～現在 現在	専業農家 福島市土地改良区総代 農業委員5期目	有	該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 257 a 畑 10 a 所有地 120 a 借地 137 a 50 年 120 a 水稻	JAふくしま未来 松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正 組員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組 合事業の円滑なる推 進を図るため。	推薦する尾形寅昭氏は水稻、条件不利地の本地域で専業農家として、本地域での後継者育成にも尽力された。原発事故に伴う水稻栽培、長年培った農業技術において、地域のリーダーとして活躍しており、これからも本地域での活躍が期待されます。 米作部門で平成27年度に福島市農業賞を受賞しております。	推薦する尾形寅昭氏は松川地区全体での、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための、多面的機能支援交付金事業の健全な管理を推進している役員として、また中山間地域等直接支払交付金事業の役員として地域活動し、遊休農地の解消、耕作放棄地の発生防止・解消に尽力されており、長年JAの本部水稻専門部長及び農業委員としての経験を通じて農地利用の最適化のための実践活動が大いに期待されます。	無
14	たけだ いさお 武田 勇夫	73	男	農業	H9～ H25.4～H27.3 現在 現在 現在	(株)パナソニック 退社 農業経営開始以降専業農家。 松川町石合町農振会会長 石合町町内会会計 用水、上井堰副大世話 TVA会員、東京ヤクルトスワローズ施設応援団相談役 壺祭講大世話	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 66 a 畑 57 a 所有地 123 a 借地 - a 43 年 - a 米、自家用野菜	JAふくしま未来 松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正 組員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組 合事業の円滑なる推 進を図るため。	推奨する武田勇夫氏は会社勤めの長年の経験をいかされ農業経営及び栽培技術に特化しており今後の厳しい農業にも対応して行けるものと確信しております。	推奨する武田氏は幅広い分野の知識を豊富に持ってあり、地域の遊休農地の効果的利用、放棄地発生防止、解消に寄与できると思うまた農地の賃借にも地域のお世話役として信頼できる方です。	有
15	やまだ たつお 山田 達男	69	男	無職	H29.4～R4.3 H10.4～R7.3 H10.4～ H14.4～ R5.1～現在 H14.4～現在 R7.4～現在	信陵学習センター館長 5年間 福島市体育指導委員・スポーツ推進委員 27年間 大笹生小PTA会長 3年間 信陵中PTA会長 4年間 羽根通町内会会長 塩釜神社総代 塩釜神社総代	無	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	自家消費 田 19 a 畑 7 a 所有地 26 a 借地 - a 40 年 - a 米、きゅうり、じゃがいも、玉ねぎ	JA大笹生活活性化委員会 委員長 油井 茂	35	大笹生店住の JA組員	JA組員の活性化への 貢献	いま、目の当たりにする光景は、顕著な農地の遊休地化、耕作者の高齢化と極端な担い手不足として空家の増加に、昨今の熊騒ぎ、地元の基幹産業である農業の持続性や、農地の持つ多面的機能の喪失が大変憂慮されます 現実をふまえた、今から出来る手当てを方向性を持って、粘り強く進めること	山田さんの、さまざまな活動で培った幅の広い経験と知見で、距離を離れた立場で従来の視点を越えた引き出しをもって、持続できる農業の将来のための発信・提案をお願いします。地元農振会の総意としてお伝えします。	無
16	くりはら たけひろ 栗原 武弘	70	男	農業	S55.3 S55.4 H28.3 H28.4 H30.3 R3.4 R3.4 R4.9 R5.1	埼玉大学 工学部卒業 福島市役所入所 福島市役所退職 福島市振興公社入社 福島市振興公社退職 鳥谷平町会会長 大波地区町会連合会副会長 大波地区町会連合会会長 福島市農業委員	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 45 a 畑 20 a 所有地 85 a 借地 10 a 45 年 - a 水稻、ゴーヤ、南高梅、甘藷、馬鈴薯	大波地区農振会 会長 阿部 光明	281	大波地区町内 会会員	組合員の協同組織の 発展を促進し、もって 営農と生活文化の向上 につとめ、併せて組 合事業の円滑なる推 進を図るため。	専業農家だった親の指導を受けながら、米作りや野菜栽培を学び、退職後は、地域農業者の一人として水稻、野菜栽培をしており、農業経営に努めている。 また、地域の仲間とともに後継者がおらず高齢化により耕作放棄地となった畑を利用し、南高梅を植栽し、荒廃農地の阻止に取り組むなど、中山間地域の農業振興、維持発展に取り組んでいる。	東日本大震災・東京電力福島原発事故から15年、放射線の影響があった大波地区では、農業を止めた農家が数多くある。そのような現状を見極め次の世代に引き継ぐ地域活動を期待したい。 また、高齢化が進み衰退する農業を、地元農家だけでなく企業の農業参入や地域内農業法人の組織化等も視野に入れた取り組みを期待したい。	無
17	さとう ゆういち 佐藤 裕一	66	男	農業	H28.3～H30.2 R4.2～ R5.7～ R7.5～	JAふくしま未来営農部長 JAふくしま未来退職後就農 以降専業農家 福島市農業委員 JAふくしま未来理事	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 - a 畑 250 a 所有地 150 a 借地 100 a 9 年 - a 花き(桜、野バラ)・桃	庭坂地区活性化委員会 委員長 川上 文夫	20	総代の代表 農振会長 専門部会の代 表 等	地区組合運営の活性化について、意見集約をはかり、組合運営に反映させるとともに、事業推進の基盤組織として協同活動を強化し、組合の民主的かつ健全な発展を推進すること。	推薦を受ける佐藤裕一氏は令和7年度よりJAの理事なり、より担い手育成や地域農業の振興に対してより一層取り組んでいる。また農業経営においては、近隣の遊休地を借り受け冬期間所得としての枝物(桜)を栽培しており今後、吾妻地区の新たな農作物として注目している。また桃栽培においては低樹高栽培として大藤形栽培に取り組む、さらに指導会員として普及に努めている。	推薦をする佐藤裕一氏はJAの営農部長として携わって来た経験を活かし集落での話し合いの取りまとめや、「地域計画」の策定に対して期待できると思われる。	無
18	さいとう たかひろ 齋藤 貴裕	55	男	農業	H7～ H11年度 H11～12年度 H19年度 H26～	農業経営開始 福島市農業後継者連絡協議会会長 福島県農業青年クラブ連絡協議会会長 福島県青年農業者会会長 福島市農業委員	有	該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 300 a 畑 7 a 所有地 160 a 借地 140 a 30 年 - a 水稻	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会 黒澤 武夫	11	ふくしま未来 農業協同組合 福島南支店役 員及び信夫地 区区長会会員	信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦すること	齋藤氏は堆肥を使って安心安全な米作りを行っている。	齋藤氏は長年農業委員を務め、地域の実情を把握しており農地の有効活用を促進させる期待ができる。	無

■福島市農業委員 推薦・応募状況(団体推薦)

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業経営の状況	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格	設立目的	推薦の理由					
					年月日	内容	農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴						認定農業者状況		農業経営・栽培技術における評価 (推薦を受ける者が農家でない場合は、農業情勢や本市農業の現状についての理解)	推薦を受ける者が、農業委員としてどのような活動が期待できるか		
19	はんざわ みきお 半澤 幹夫	71	男	農業	H28.3~R3.3 R5.7~R8	JA全農福島定年退職 信夫学習センター館長 信夫区域農業委員	有	非該当	①経営形態	専業	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会	11	ふくしま未来農業協同組合 福島南支店役員及び信夫地区区長会会員	信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦すること	推薦する半澤氏は、以前農業団体にとつめており、農業に関する知識を有していると思われる。	推薦する半澤氏は、今度2期目となる為、幅広い活動が期待できる。	無	
									②耕作面積	田								3.5 a
										畑								1 a
										所有地 借地								4.5 a - a
									③従事年数	15 年								
④受託作業	- a																	
⑤主な生産品目	米、ジャガイモ、ネギ、青菜																	
20	ひきち まさと 浅地 正人	59	男	農業	S60年度 H14.4 H28年	学校法人福島高等学校卒業 牛削蹄師と農家米作り親と 消防団入団 防災士	有	該当	①経営形態	専業	荒井地区農振協議会	255	正組員	組員協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図る	推薦する浅地氏は、本地域の稲作における請負に奔走し、困っている高齢者等の相談にのり、福島市の農業の現状について十分に理解している。	推薦する浅地氏は農業推進の委員等を歴任していることや現時点においても荒井佐倉地区の請負等されている。その他にも農地利用、経営のお手伝いにも手を貸したり、こういう支援に地区のためにも尽くされている。この識見と情熱のある浅地氏を委員として活動に期待できる。	無	
									②耕作面積	田								1,200 a
										畑								- a
										所有地 借地								120 a 900 a
									③従事年数	41 年								
④受託作業	- a																	
⑤主な生産品目	米																	
21	しばた とくお 柴田 徳男	68	男	農業	S51年~ H27.7~ H30.4~ R5.7~	農業経営開始 農地利用最適化推進委員 福島市消防団 9方面隊長 福島市農業委員	有	該当	①経営形態	専業	青木第3町内会	37	町内会員	住民相互の連絡調整、親睦、福祉の増進を図るとともに、環境の整備等、地域発展に資する共同活動を行うこと	推薦する柴田氏は認定農業者であり水稲栽培、酪農経営に従事し高度な水稲栽培技術を習得しており地域における中心的な農業者である。これからも飯野地区といわず、松川地区においても水稲栽培にも貢献し、今後飯野、松川での活躍が期待される。令和7年度には飯野立子山において水田グループを立ち上げている。	推薦する柴田氏は飯野地区全体での農業、農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための多面的機能支援交付金事業保全管理を実施している役員として、また中山間地域等直接支払い交付金事業の役員として地域活動し遊休農地の解消、耕作放棄地の発生防止・解消に尽力されている。松川町のやまろく商店の水稲部の勉強会、指導を長年受けている。農業委員としての経験を通じて農地利用の最適化のため実践活動が大いに期待される。	無	
									②耕作面積	田								450 a
										畑								30 a
										所有地 借地								- a - a
									③従事年数	50 年								
④受託作業	- a																	
⑤主な生産品目	水稲																	

■福島市農業委員 推薦・応募状況(応募)

受付No.	応募者								応募の理由		農地利用最適化推進委員への推薦・応募の有無		
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況			自ら行っている農業経営及び栽培技術の特徴などについて(農家でない方は、農業情勢や本市農業の現状について)	農業委員としてどのような活動ができるか。
					年月日	内容			①経営形態	非農家			
1	こくぶん こういち 國分 幸一	36	男	野菜卸 カット野菜	H20~H31.3 H31.4~現在	陸上自衛隊 新栄商店	無	非該当	①経営形態	非農家	生産者の高齢化と跡継ぎ問題と長く使われていない農地と今後そうなるであろう農地の活用方法を考え、実行。	明確な事はありませんが、農業に関しても課題は多いと感じています。これまでの委員の活動+課題を見つけ青年会議所に持ち帰り、地域の農業のための協議をかさね、1つでも2つでも解決して福島の農業をよりよくしていきたいと思っております。	有
②耕作面積	田 畑 所有地 借地	- - - -	a a a a										
③従事年数		-	年										
④受託作業		-	a										
⑤主な生産品目													
2	さとう くにお 佐藤 國夫	70	男	無職	S53.3.13 H6.2.1 H24.11.15 H25.2.1 H28.3.1 R2.10.31	福島市農業協同組合入組 新心くしま農業協同組合合併 定年 再雇用 心くしま未来農業協同組合合併 退職	有	非該当	①経営形態	非農家	私は、前職の経験から当時の福島市農政部農政課・農業振興課また、商工観光関係部署との関わりを持たせていただき、さらには農業委員会との定例的な意見交換会等も経験し、共に福島市の農業が抱える問題点を洗い出し、その課題解決に携わってきました。しかしながら、依然として農業従事者の高齢化、後継者不足、遊休農地の増加問題、農地の荒廃は目に余るものがあると考えます。新規就農者の増加が見込まれてきているとはされていますが、農業を開始するには周年を通じた技術の研鑽や農業機械や設備投資が必要であり、福島市としての受け入れ体制が重要不可欠であると考えます。	私は、前職の経験をもとに福島市における農業の活性化と福島市の農産物や農産加工品等のPRや新たな農業の分野を開拓して市民に身近な農業を農業委員として諸先輩方が築いてきた事業を継続的に展開していければと考えています。	無
②耕作面積	田 畑 所有地 借地	- - - -	a a a a										
③従事年数		-	年										
④受託作業		-	a										
⑤主な生産品目													
3	かんの ひさこ 菅野 房子	63	女	サービス業 (株)JAライフ クリエイト福島	1981年 2023年3月 現在	北福島農業協同組合入組 信用・購買・共済・店舗など様々な部署を経験し 新心くしま農業協同組合・本店組織広報課長、 北福島地区本部長、心くしま未来農業協同組合 北エリア代表支店長・福島地区金融共済担当部長・ 本店経済部長を経験 定年退職 株式会社JAライフクリエイト福島 福島営業所に勤務	無	非該当	①経営形態	自家消費	農業とは単なる産業の枠を超え「食を守り、体を作り、命を育み心を育てる」という人間が生きていくうえでの最も大切な基本であると考えております。また、農地を維持することは、私達が暮らす地域の自然環境を次世代へつなぐ公的な役割も担っております。 しかし、農業従事者の現状は震災の影響に加え、もともと進んでいた高齢化が加速しベテラン層が、体力的な限界でリタイヤする時期に差し掛かり管理しきれない農地が目に見えて増えております。 現在の後継者不足や耕作放棄地の問題に対し、強い危機感を持っております。	実務経験を生かし農地法に基づいた公平・公正な審査を行うとともに、リタイヤを考えている農家の方々の想いを汲み取り、意欲ある若手や新規就農者へ農地を繋ぐための活動等、福島市の農業の誇りを、行政の方々と共に考えて参りたいと思っております。 そして、福島市の農産物、農家の方々の活動、魅力を広く皆さんに知っていただきたいと考えております。	無
②耕作面積	田 畑 所有地 借地	- 3.3 3.3 -	a a a a										
③従事年数		10	年										
④受託作業		-	a										
⑤主な生産品目		野菜											